

1994

千葉県建築文化賞

第一回表彰作品集

千葉県建築文化賞の 創設について



千葉県知事 沼田 武

近年、高齢化の急速な進展、国際化の進展等、経済・社会情勢の変化に伴い、私たちの暮らしにおいては、価値観の多様化やライフスタイルの変化が進み、ゆとりとうるおいのある心豊かな暮らしが求められるようになっております。そして、このような流れの中で、都市の美観、環境との調和、高齢者や障害者の暮らしやすい街づくりが一層強く求められています。

「千葉県建築文化賞」は、地域の周辺環境に調和し景観上優れている建築物及び高齢者や障害者の利用に配慮した優れた建築物を表彰することにより、建築文化、居住環境に対する県民の認識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを進めていくことを目的とし、社団法人千葉県建築士会をはじめ関係各機関の協力を得て創設したものです。

今回は、応募のあった192点の中から「景観に配慮した建築物」3点、「高齢者・障害者に配慮した建築物」3点が受賞作品として選ばれておりますが、これらの作品が今後の街づくりをリードし、建築文化の向上に寄与するものとなることを期待いたしております。

今後とも、うるおいとやすらぎのある街づくりに貢献し、地域の共有財産となる建築物が数多く建設されることを期待いたしますとともに、県民の皆様方と一体となって、より優れた街づくりを推し進めてまいりたいと考えております。

終わりに「千葉県建築文化賞」が、これからの優れた建物づくりを推進していくにあたっての励みとなり、すばらしい賞として育つことを祈念し、県民の皆様をはじめ、関係の皆様のお一層の御協力をお願い申し上げましてごあいさついたします。



総評・選考経過

選考委員長 守屋秀夫

はじめての建築文化賞にたいして多くの方々からご推薦をいただき、応募総数は192件（建築数では178点）となった。応募建築物の所在地は43市町村に分布し、全県下に広がっていた。推薦者も、建築主、設計者、施工者ばかりでなく、個人からの推薦が半数以上を占めていたことは、県民の関心の深さを示すものといえよう。

審査は、まず推薦理由と写真などが貼付された応募図書を会場に展示し、各委員がこれらを一覧した後、賞の部門別に2段階の投票を繰り返し、討議を経て計21点の建築物を選んで現地審査の対象とすることにした。現地審査にあたっては、現地の案内等に千葉県建築士会の会員のご協力を得た。最終審査は、現地審査の報告をもとに討議を行い、話し合いによって入賞建築物を決定した。今回の選考は、景観に配慮した建築物と高齢者・障害者に配慮した建築物というテーマのもとに行ったが、このように特定の条件が付けられた点に通常の建築賞と違う特色がある。しかし、これらの条件のみを審査の対象としたのではなく、優れた建築物であることも選考の基本とした。

景観に配慮した建築物

比較的規模が大きく全体の外観が美しいものや、周囲の自然景観と調和しているもの応募が多く、隣接した建築物との調和に配慮したとか、住宅団地全体の景観構成に特別の工夫があるなどの、町並みとしての景観を訴える応募は少なかった。

景観一般建築物の部門では、「海岸美術館」と「川村記念美術館」がともに池や自然林を背景とした美術館であり、とくに後者は周囲も含めて手入れも行き届き、心憎い設計であるが、一般人の入場を拒む地域が広いなど管理のきびしさが指摘され、自然のままに放置した景観の中にさりげなく建築した前者に賞を譲った。「竹中工務店技術研究所」は周囲に心地よい印象を与えるよう

配慮された施設であり、内部の建築的完成度も高い。景観住宅の部門では、「南花園の家」が市街地住宅として道路に面した外観の扱いに好感がもてる。「グランピア西白井」は低層と中層を組み合わせた住宅団地であり、設計の意図は評価できたが、デザインの密度にいまひとつの物足りなさが感じられた。

高齢者・障害者に配慮した建築物

老人・福祉関係の施設の応募が多かったが、一般の建築物で障害者の利用にも配慮が行き届いた作品が、もう少し増えることを期待したい。

高齢者・障害者一般建築物の部門では、「鴨川市総合保健福祉会館」が、保健と福祉の複合を上手にまとめ、しかも景観的にもすぐれた建築物としている点で高く評価された。「老人ホームふるさと苑」も明るく活気のある特別養護老人ホームであり、最後までどちらを入賞させるかで論議された。「中銀ライフケア白井」は高齢者・障害者住宅部門で応募されたものであるが、カルチャー施設・スポーツ施設などを併せもつ、中高齢者向け住宅であり、住宅団地全体の設計密度が評価されて、一般建築物の部門で入賞することとなった。高齢者・障害者住宅部門では、「市川の家」の老人夫婦の生活を隣接する子供の家族がそっと見守るかたちでケアする気配りが高く評価された。「シルバー中金杉」は老人用公営共同住宅であり、老人家族にたいして比較的豊かな住宅を用意したもので、入賞に次ぐ評価を得た。



景観に配慮した一般建築物 海岸美術館

所在地：安房郡千倉町川戸柏尾550
施主：(株)モスフードサービス
設計：石井和紘建築研究所
施工：大成建設(株)千葉支店



3

浅井慎平氏の写真作品を展示する海岸美術館が、房総半島の南端にある千倉町に開館した。写真で見たロケーションは、小さな海の入江に面しているように思えた。ところが案内の車は山路を曲がる。やがて小さな沼のほとりの対岸の山合いに、それらしき姿が見えてくる。写真で姿を写していた水面は海ではなかった。にもかかわらず海岸美術館と呼ぶには、長らく仕事場にもしてこの土地の海と山を愛でてきた浅井氏の思い入れがあるに違いない。

山合いの屋根が草葺きならば、典型的な日本の里山風景である。だがモダンデザインの直線的なコンクリート壁面は、おだやかな山の曲線に対して極めて対比的である。しかもそれは外界を閉ざす門構えにも見えるのだが、それがかえって山合いの奥の秘密を匂わせて魅力がある。

建築設計はポストモダン派で知られる石井和紘氏である。浅井氏の思いと地形を心得た石井氏とのかたり合いが聞こえてくるほどに、対比的な建築造形は見事なプロポジションでじっくりと山懐に抱かれている。サラリと新鮮な里山風景が創りあげられたといえよう。海は建物の内庭にあった。浅井氏自作の青海波紋様の



タイルが渚を奏でている。屋内の空間は一転して開放的、自然光の展示室は山の芽吹き息づかいが伝わってくる。

優れた建築は優れた景観を創出する。房総の奥の地に小さいがキラリと光る新たな景観づくりの芽が生まれたことを嬉しく思う。この美術館に触発されて、質の高い文化施設がこの山路に点在し、それを訪ね歩く楽しみを期待したい。

(野口瑠璃 委員)



所在地：印旛郡印西町大塚1-5
施主：(株)竹中工務店
設計：(株)竹中工務店東京本店設計部
施工：(株)竹中工務店東関東支店

景観に配慮した一般建築物
竹中工務店技術研究所



田園と雑木林の穏やかな広がり、ところどころ谷津が切り込む典型的な北総地域の風景の中に、人工的な緑の丘が周囲の環境に馴染みつつ、低層でシャープな高度に洗練された白い建築が見えかくれする。その姿は、人と自然の技術的共存として、見るものに未来都市のイメージさえも与えている。

この作品は、千葉ニュータウンのセンターとして整備が進む中央駅に位置する。評価する点をあげると――

- ①あえて集約的な高層建築とせず、水と緑と光に接する研究所として、現状の豊かな自然環境を保持し、積極的に取り込もうとしている事。
- ②21世紀を目の前にして、変わりつつあるライフスタイルに適応した、働く場の環境を新たに提案しようとしている事。
- ③日本の表玄関としての国際空港が立地する千葉県にとって、空から見えるランドマークとして、県民にとってのシンボルとしての役割も担っている事。

以上の点が指摘できる。

今後、街の開発が進みアーバンティニーが高まる中で、自然に対する姿勢を保ちつつ、この研究所が住民に開かれた、うるおいとやすらぎとテクノロジーが調和した施設として、周囲の街づくりに寄与していくことを期待する。

(工藤和美 委員)





景観に配慮した住宅 南花園の家

所在地：千葉市花見川区南花園
施主：北原理雄
設計：(株)カトーアソシエイツ
施工：三建建築創作(株)

JR新検見川駅より徒歩数分、毎秋開かれる国際駅伝ロードから、ちょっと住宅地に入りかけた場所に、この住まいは建っている。

外観は間口の半分程の低い生け垣がわずかに敷地の境界を示し、大屋根から伸びた低い一文字の軒、何気ない玄関ポーチ、そこにおかれた木のベンチ、肩をちょっと上げたようなシャイな二階の軒先、などが人目を引く。前を通りかかる人がおもわず入りたくなるような親しみを持ち、ここの住人の人柄が偲ばれるようなゆとりのある心地よい空間を創りあげている。老夫婦、若夫婦とその子供が過ごすこの住まいは、いわゆる今風の二世帯住宅とはおもむきが異なっている。中央に設けられた吹き抜け土間は、おのおのの生活空間の独立性、通風性などの機能を見事に満ち、屋外空間の解放感をも再演している。二階南面のベランダは、冬晴れの日の富士山、夏の花火など、四季をこの家に取り込む家族の団らんステージとして計画されたと言う。プライバシー部分を見極めながら賢い住まい方をみせられ、家族の奥ゆかしさが感じられる。これを創りあげた設計者の心配り、施工した職人の心意気が住まいに関心を持つ私としては、住まいの好ましい一つのありかたを見せられた思いがした。

(鶴巻昭二 委員)





所在地：鳴川市八色887-1

施 主：鳴川市

設 計：(株)榎本建築設計事務所

施 工：清水建設・富士三建工業
共同企業体

高齢者障害者に配慮した一般建築物
鳴川市総合保健福祉会館



市民に最も身近な地域において必要な福祉サービスをきめ細かく、総合的に提供できる体制づくりの一環としてつくられたこの施設は、自然環境に恵まれた立地条件をうまくとりいれている。

赤瓦の勾配屋根、外壁の打放しコンクリートの外観が、堰の水面に映るその姿はふれあいセンターとして、より親しみやすいものになっている。

一階は玄関から続く広いホール、ロビーが各室との連絡機能を充分果たしている。さらに、中庭を中心として保健、医療の関係部門と、福祉関係部門との融和を図っている。

二階は各団体等の指導、研修室の配置が高齢化、小児化の現状を考慮して設計され、保健・医療・福祉の連携を保持するため、それぞれの関係スペースを配置している。

仕上材は、木質系を多用し人にやさしい雰囲気を構成している。さらに、やわらかい自然の光、さわやかな自然の風の導入等、利用者へのやさしい配慮も評価できる。将来的には健常者と障害者が共に安心して利用できるふれあいセンターとしての総合的機能が十分に



発揮されることを期待する。そして管理部門としての事務室と福祉関係部門のデイサービスとの関連性、視聴覚障害者の利便性等の配慮について新たな提案を待ちたい。

福祉ニーズが今後益々変化し多様化していく時代であるだけに、この種の施設の関係者の努力を願うものである。

(周郷紀男 委員)



高齢者障害者に配慮した一般建築物 中銀ライフケア白井

所在地：印旛郡白井町堀込2-2

施主：中銀マンション(株)

設計：(株)新居千秋都市建築設計

施工：(株)フジタ東京支店



7

三面道路に囲まれた三角形の敷地に建つ総戸数405戸の一般向き、多世代向き、ライフケア型の三タイプからなる世代継承型住宅で、多くの規制を克服して劇場やカルチャー施設を導入し、スポーツ施設やライフケア施設も複合した新しいタイプの住環境の提案である。敷地を取り巻くように配置された各建物は、それぞれ前面街路に対して正面性をもたせている。セットバックによって歩道との間に緑地を確保し、中央に緑豊かな中庭をもったヨーロッパ型の配棟計画は、落ち着いたある街並み空間を創り出している。

R型屋根のシルエットは、美しいスカイラインを形成している。さらに垂直線と水平線の織りなす彫りの深いファサード(外観)は、新鮮で個性的な風格を創り出している。

ライフケア住宅は、高齢者対応の各種の安全設備を備え、水回りを使い易く工夫し、通路幅員や扉の幅についても、設計者が自ら車椅子を使い検証しつつ、試行錯誤を繰り返しながら寸法を決めたという。

長年にわたって蓄積してきた高齢者対応のノウハウを



結集した労作であり、設計者のあくなきこだわりが随所に見え、深い感銘を受けた。

住環境の整備、余暇施設との複合化を先取りした、極めて完成度の高い世代交流型住宅として高く評価したい。

(明智克夫 委員)



所在地：千葉県市川市新田
施主：加藤武志
設計：KATO建築設計室
施工：(株)第一工務店

高齢者障害者に配慮した住宅 市川の家

二世帯住宅の場合、親世帯の居住部分と子供世帯の部分とを一つの建物の中でどの様に分け、つなぐかが課題であろう。当住宅は、375m²の敷地面積を活かして、親世帯のゾーンと子供世帯のそれを横並びに配置し、親部分は平家に子供部分は二階建てにつくられている。玄関や台所、トイレ、風呂場等もそれぞれ別に設けてあり、屋根は連続しているというものの、日常生活の独立性は高い。だが、かといって遮断されているのではなく、境目である中央部分を凹ませることで、そこに広い濡れ縁を設けて往来を容易にし、親世帯の居間の窓を子供世帯の居間や台所から斜め横に見ることが出来、その気配をなげなく感じ取れるようになっている。

親世帯のための建築時における配慮は、居間を洋間に

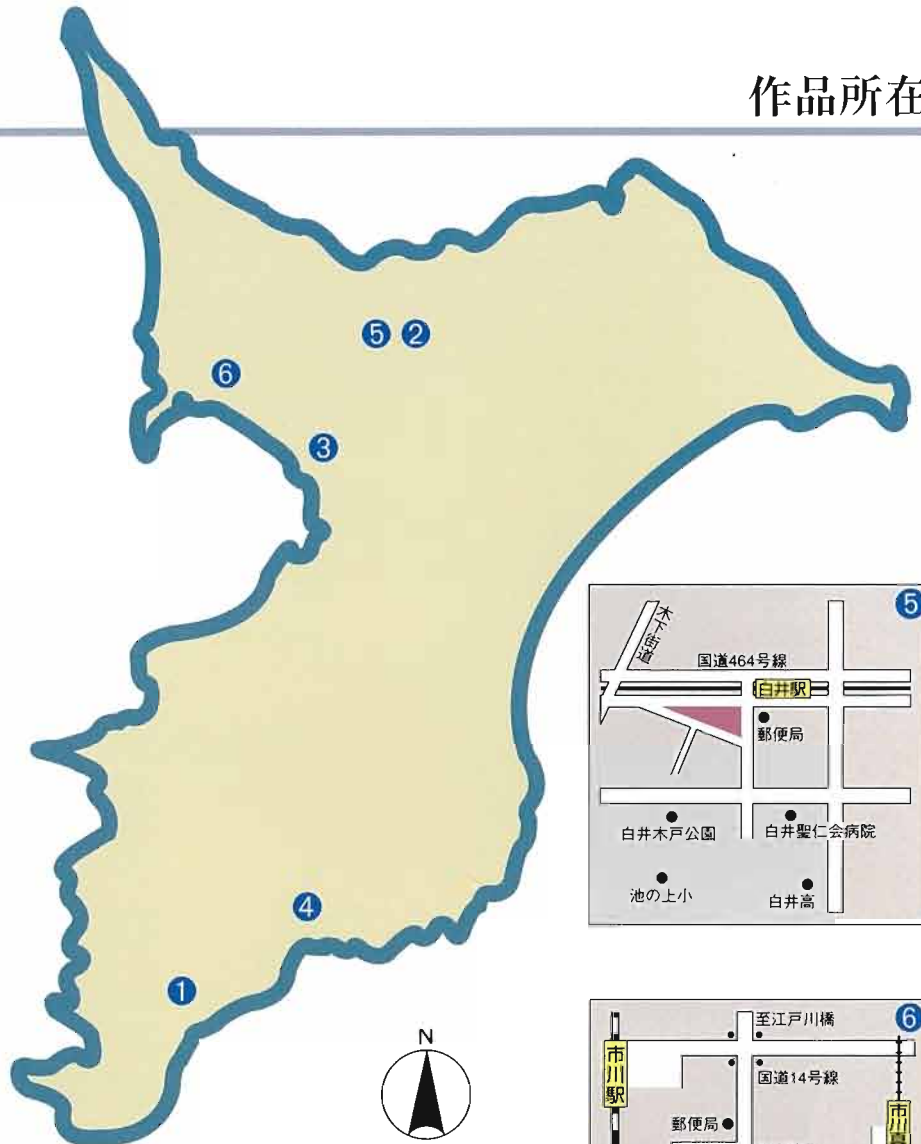
したことで、和室以外の段差をなくしたこと、敷地内に歩行できる小道を巡らせたことである。畳敷の和室があり、風呂場やトイレには手摺以外の特別の配慮はない。だが、必要が生じた時には、風呂場を広くしたり、襖をはずして介護しやすいように二つの部屋を一つにするとか、壁を取り除いてドアにし直接の往来を可能にするというように、状況に応じて変えていけるように予め考えられている。

設計者自身の家族の住まいであることもあり、そこで暮らすものの立場から二世帯同居をどのような住まいの形にするか、十分に考え抜かれた作品であるといえよう。機能的な個々の設備にこだわっていない点を評価したい。

(川上昌子 委員)



作品所在



〈第一回千葉県建築文化賞受賞作品〉

- ① 景観に配慮した一般建築物
海岸美術館
- ② 景観に配慮した一般建築物
竹中工務店技術研究所
- ③ 景観に配慮した住宅
南花園の家
- ④ 高齢者障害者に配慮した一般建築物
鴨川市総合保健福祉会館
- ⑤ 高齢者障害者に配慮した一般建築物
中銀ライフケア白井
- ⑥ 高齢者障害者に配慮した住宅
市川の家

選考基準

- 1.千葉県内において、平成元年4月1日から平成6年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨に適合しているもの。
- 2.優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
 - ①地域の特性や周辺の環境に十分な考慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
 - ②安全性、快適性、利便性に優れ、高齢者や障害者がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易にできるような環境整備がなされているもの。
- 3.建築基準法等の各法令に適合しており、近隣との紛争が生じていないもの。

選考委員

※敬称略、順不同

委員長	守屋秀夫：千葉大学工学部教授	委員	明智克夫：千葉県建築設計監理協会会長
副委員長	北原理雄：千葉大学工学部教授	委員	鶴巻昭二：新日本建築家協会・千葉代表
委員	工藤和美：(株)シーラカンス代表取締役	委員	石井信義：千葉県建設業協会会長
委員	野口瑠璃：(株)GK取締役社長	委員	鈴木民三：千葉県社会福祉協議会会長
委員	山田昇：読売新聞社写真部部长待遇	委員	海老根寧：千葉県身体障害者福祉協会理事長代行
委員	川上昌子：淑徳大学社会学部教授	委員	西川達男：千葉県社会部長
委員	周郷紀男：千葉県建築士会会長	委員	木内政成：千葉県都市部長
委員	青山靖：千葉県建築士事務所協会会長		

共催・後援・協賛団体一覧

共催 (社)千葉県建築士会

後援 建設省 新日本建築家協会・千葉 (福)千葉県身体障害者福祉協会
(社)千葉県建設業協会 千葉県建築設計監理協会
(社)千葉県建築士事務所協会 (福)千葉県社会福祉協議会

協賛 千葉県住宅供給公社 住宅・都市整備公団(東京支社)(首都圏都市開発本部)(千葉開発局事業部)
(財)千葉県都市公社 京葉ガス(株)
千葉県土地開発公社 千葉ガス(株)
(財)千葉県都市整備協会 大多喜ガス(株)
(財)千葉県地域整備協会 千葉県昇降機等検査協会

第一回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

応募総数192件の中から6件を千葉県建築文化賞として表彰させていただきましたが、この他にも優れた建築物は数多くありました。建築文化賞はこれからも続けて参りますので次回への御応募を期待しております。

最後に千葉県建築文化賞に後援・協賛をいただきました団体の皆様、現地審査にご協力をいただきました千葉県建築士会の皆様に厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ先

千葉県都市部建築指導課
〒260-91 千葉市中央区市場町1-1
TEL.043-223-3186

(社)千葉県建築士会
〒260 千葉市中央区長洲2-12-25
TEL.043-222-0109